

(新規・**完成**・主要)事業箇所(直轄・補助)事業

いりやま
入山第2号砂防えん堤の完成
やまがた おぐに
山形県小国町

災害に強い安全・安心な国土の実現

事業の概要

飯豊山系における直轄砂防事業は昭和42年8月28日に発生した羽越水害(死者・行方不明者90人、家屋被害11,095戸:荒川水系)を契機に、直轄砂防事業を実施しています。

当該地域は、地質が脆弱で土砂災害の危険性が高い地域であり、平成16年7月豪雨では、下流の砂防えん堤は土石流の発生により一気に土砂が堆積しました。

このため本溪流の上流域には不安定土砂が大量に存在するなど、集中豪雨等によって保全対象が被害の恐れがあるため、上流域の支溪流に砂防えん堤を整備します。

整備効果

保全対象である舟渡地区を土石流による直接的な被害から守るとともに、下流域に位置する市町村を洪水はん濫から保全します。

事業着手

平成20年度

平成22年度の事業内容

砂防えん堤の整備を完成させます。

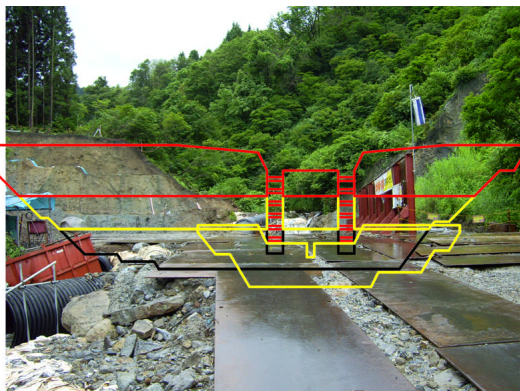


写真-施工箇所



位置図

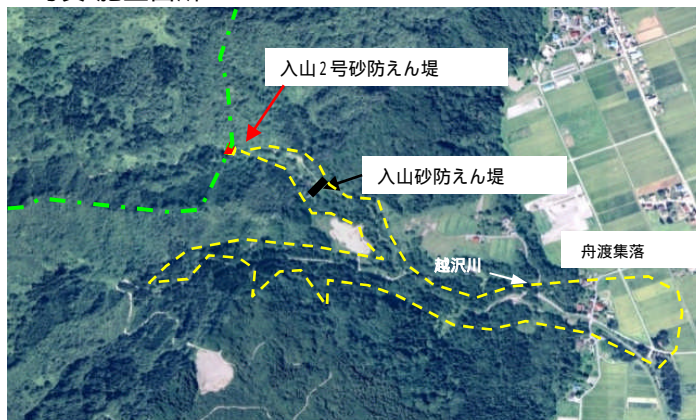


写真-流域概要

凡例	
平成20年度以前	■
平成21年度	■
平成22年度	■
平成23年度以降	■
流域	---
はん濫想定区域	---